

# すがもらいぶらり

2020年12月5日 巣鴨図書館発行

## すがもガーデン（冬だより）



なんだかわかりますか？

夏野菜ほどの華やかさはありませんが、すくすく成長してきました。

この冬のラインナップは、

- 「キャベツ」・「ブロッコリー」・「カリフラワー」・「えんどう」・「にんじん」・「そらまめ」・「はつか大根」・「ごぼう」等の野菜
- 「ラベンダー」・「ローズマリー」・「ポリジ」等のハーブ
- ゴーヤの緑のカーテン後には、「菜の花」

がひかえています。図書館にいらしたら、ぜひ足を止めてみてください！

## 今月のイベント ～すがも自然絵巻～

ペンぎん体操でおなじみの齋藤楨先生をお招きしてワークショップを行います。

- 流れは、次の通りです。
- ①12月27日13時半～・14時半～  
実施される制作説明会のどちらか1回、ご参加いただけます。
  - ②説明会で半紙をお渡ししますので、ご自宅で巣鴨界隈で発見した動植物等を書いていただけます。
  - ③1月17日14時からの絵巻物制作会で、皆さんの作品を一つの絵巻物に仕上げます。  
☆この日の参加が難しい場合は、17日までに図書館に提出いただければ大丈夫です。

出来上がった絵巻物は巣鴨図書館館内に展示いたします。

参加ご希望の方は、巣鴨図書館カウンターまたは電話（03-3910-3608）で、お申込みください。

### サンデーおはなし会

12月20日(日) 11時～と14時～の2回  
サンデーおはなし会をします。  
事前申込制で、図書館カウンターもしくは、お電話（03-3910-3608）で受付します。

### 編集後記

2020年が始まった時には、想像もできなかった状況で、年末を迎えようとしています。  
少しずつ、少しずつでも前に進み、今年できなかったことが、来年はできることを祈念しつつ…  
前を向いて進んでいきます！ (M)

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みなさんは、SDGsについて関心をお持ちでしょうか？

SDGs【持続可能な開発目標】は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を年限とする国際目標で「地球上の誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするものです。

豊島区は今年、持続可能なまちづくりのため、SDGs達成へ向け優れた取組を行う自治体として、「SDGs未来都市」に選定されました。その中で、特に先導的な取組として「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。ダブル選定は、東京都初となります。

巣鴨図書館では現在、SDGs関連の特別展示を行っています。この展示を契機に、SDGsを推進する自治体の職員としてSDGsの有効性などについて知識を深めていくとともに、区民の方々への普及・啓発に取り組んでいきたいと考えています。（館長）



SDGs、一人一人が関心を持つこと、自分ができることは何かを考えることが第一歩なのではないかと考えている今日この頃です。

イラスト作 S

## じぞうくんの食レポリレー



鶯鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

旅の醍醐味といえば、やはりその土地土地のご当地食材や郷土料理ですね。今回は、私が旅先で出会った美味しいものを、分野別にご紹介したいと思います。

### ●食材編：青森市の『塩ウニ』

青森の街のウニ屋さんで試食させてもらった、瓶詰の最高級塩ウニ。あまりの美味しさに思わず涙目。ものを食べて涙が出たのはこの時が初めてでした。

### ●郷土料理編：神戸市の『ぼっかけ牛すじまん』

神戸市長田区の郷土料理、『ぼっかけ（牛すじとこんにゃくの煮込み）』の肉まん。新長田駅商店街の牛すじ専門店で見発見。「ここに住んだら絶対、1週間で3キロ太る！」と確信したほど、兵庫県は美食天国でした。

### ●駅弁編：北九州市の『かしわめし弁当』

九州名物『かしわめし（鶏の炊き込みご飯）』を主にした駅弁。私が食べたのは、JR折尾駅の『大名道中駕籠かしわ』（小倉駅で購入。ご飯は鶏そぼろでした）。ご飯もおかずも全て美味という逸品でした。 (A)

テーマに合わせた図書館蔵書をご紹介します

#### お役立ち本

『にっぽん全国100駅弁』 双葉社  
(596.4 サ)  
『おうちで旅レシピ』 JTBパブリッシング  
(596 フ)  
『47都道府県女ひとりで行ってみよう』  
幻冬舎 (291.0 マ)

## じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ほくはじぞう。  
心にうつりゆく  
ちょっとした疑問を  
ここでつぶやいていくよ。

前回、かぶとむしのZINEを作ったじぞうくん。そのときに使った資料の選び方を教えてくれるみたいですよ。

かぶとむしについてのZINEをつくりたいから、本を色々集めてきたよ。

本を選ぶときには、まず目次を確認！全部読まなくても目次を見れば、どんなことが書いてあるか、大まかに分かるよ。

次に、本全体を見て、写真や文章の分量を確認。写真はカラーか白黒か。文章はわかりやすい言い回しで入門的な内容か、専門用語を使った学術的な内容なのか、見たいよね。①の資料は絵本だからとってもわかりやすい文章で初心者向け。カラー写真が大きくて迫力あるし、イラストも多め、親しみやすくなっているね。

②の資料は大人向けで情報量が多いけど、読みやすい文章だね。カラー写真の数が多くて、紹介している虫の種類が豊富だね。

最後に、出典や参考資料、出版年と出版社もチェック。情報の出所、どんな出版社が出しているのか、情報は新しいのか古いのかも知りたいね。

インターネットで調べる時も、「いつの、どこ発信の情報なの？」っていうのは、すごく大事だよ。

古い情報や間違った情報を信じちゃうと困るでしょ？それじゃ、調べ物を楽しんで～！

#### じぞうくんが読んだ本はこちら

- ①『カブトムシ  
育てて、しらべる日本の生きものずかん』  
集英社 (486)
- ②『原色で楽しむカブトムシ・クワガタムシ  
図鑑&飼育ガイド』  
実業之日本社 (646 ア)

## じぞうさんぽ

< 関門海峡を歩いて渡ってみた。 >

2019年10月某日、14時。北九州銀行レトロライン『潮風号』は、九州鉄道博物館駅を出発した。潮風号とは、北九州市の門司港レトロ地区から関門トンネル出入口付近まで、約2kmを結ぶ観光トロッコ列車である。街並みや海峡の景色を眺めながら10分。終点・関門海峡めかり駅から、海辺の遊歩道を徒歩10分。関門橋のたもとにある関門トンネル人道出入口に到着した。

地下に降りると、鍾乳洞を思わせる冷気に包まれた。エスカレーターホール左奥に、人道の起点が見える。実はこの人道、意外と短い。全長780m、10分程度の道程だ。足を踏み入ると、遠近法の焦点までひたすら真っすぐに道が続いていた。天井と左右の壁は海らしく群青と白のグラデーションに塗り分けられ、黄土色の床に白く大書された『↑下関』の文字が期待感を盛り上げる。だがしかし。短距離とはいえ出口の全く見えない、しかも海底トンネルである。うっかり某怪獣映画を思い出してしまい、若干ビクビク気味に歩を進める。

5分程歩くと、県境があった。道を横切る白線の手前に『福岡県』、奥に『山口県』と書かれている。しばし立ち止まって感慨にふけた後、線を跳び越えて山口県に突入し、さらに5分。関門海峡徒歩横断は、少々あっけなくも楽しく完遂された。トンネルの下関側の端に書かれていた文字は、もちろん『↑門司』だった。 (A)

旅のお供に  
おすすめの  
図書館  
蔵書をご紹介します

#### ともぼん お供本

『林芙美子女のひとり旅』  
新潮社 (910.2 ハ)  
『ふくおか周辺マニアック博物館』  
メイツユニバーサルコンテンツ  
(291.9 フ)